

かんらの翼

つばさ

甘楽中学校通信 平成 29 年 10 月 3 日(火)

〒370-2213 甘楽町白倉 1411 校長 瀬間 一正

URL: <http://kanra-scholnet.ed.jp/kanrachu/>

Tel 0274-67-0055 Fax 0274-67-0056

9月28日には、夏休み中に中国のハルビンに派遣された4名の報告会を行いました。10月3日の朝礼では国際的な視野を広げるという視点で生徒に次のようなお話をしました。

私は今から30年近く前、3年間ドイツの日本人学校に勤務したことがあります。そのときのことで印象深く覚えていることを2つお話しします。



1、環境問題

リサイクルとか環境保護ということはエコという言葉でよく聴きますね。

例えば、買い物に行くときのマイバッグはそれにあたります。日本では最近になってようやく普及してきました。30年前のドイツではスーパーで買い物をしても買い物袋はくれませんでした。欲しい人は20円くらい出して買うのです。ですから、買わないでマイバッグを使用するか一度買った袋を繰り返して使っている人が多かったです。そのころ、環境問題への対応はドイツと日本では20年の差があると聞きましたが、この袋の問題一つ取ってみてもまさに20年（それ以上）の差がありますね。ほかにも車での無駄なアイドリングはしない、緑を大切にす、車社会ですが、だいたいどの町へ行っても市電が走っている、などが徹底されていました。

また、町の美化に対しても取り組みが日本より徹底している気がしました。

まず、道路から見える所には必ず街路樹や庭木が植えてあります。土がむき出しになったところを見たことがありません（もちろん畑は別）。窓はきれいに磨かれ、必ずレースのカーテンが掛かっています。道路から見るところには洗濯物さえ干してはいけないのです。美観を損ねるような物は徹底して排除することで、どこの町に行ってもとても綺麗でした。野生の動物を目にする



2、犬のしつけと子どものしつけは世界一

ドイツに3年間いて町中で犬の散歩をしている人をよく見かけました。綱から放して歩いている人もたくさんいました。レストランの中にも普通に犬がいました。でも不思議なことです、犬の鳴き声を聞いたことがありませんでした。どの犬もとても利口そうで、飼い主の言うことをよくきくのです。どうしつけているのかはよくわかりませんが、しつけは世界一という言葉はうそではないと思います。また、子どものしつけも徹底しているようでした。電車の中で中学生が座席に座っていれば怒られるし、人前でうるさくしたり迷惑をかけたりもしません。子どもは夜も早く寝るようですね。

日本人の子どもがアパートで夜走り回ったりしていると、次の日にその下にすむドイツ人が「子どもは静かに育てなさい」と手紙を郵便受けに入れたりするという話はよく聞きました。

生活してみると、考え方や習慣が全く違うことが結構あります。これだけは旅行しただけではわからないことが多いでしょうね。皆さんもいつか外国に行く機会があるでしょう。すでに行った人もいます。是非、チャンスがあったらいろんな国に行ってみてください。

☆富岡北中 3 年生来校 (9/8)

富岡市立北中学校の3年生15名が、9月8日に来校しました。1日3年生とともに授業を受け、給食を食べ、外で綱引きをするなどの交流をしました。本校の3年生にとってもいい刺激となったようです。



☆家庭教育支援事業 (9/14)

西部教育事務所が主催する「家庭教育支援事業」を行いました。3年の保護者を対象に実施し、受験期の子どもにどう接するがいいのかというテーマで、グループごとに話し合いをしました。



☆校内陸上大会 (9/20)

第2回「校内陸上大会」が好天の中、盛大に行われました。各クラスとも入場行進からしっかりと団結し、自己の記録更新とともに、クラスの優勝を目指して迫力ある走りや跳躍などを見せてくれました。大勢の保護者の方々にもご来場賜りました。ありがとうございました。



☆3 学年のキャリア教育講演会 (9/22)

(株)リクルート北関東マーケティングの社長「中島淳二」様による講演会を行いました。進路選択についての考え方や社会に出て必要とされる力などについて具体的でわかりやすいお話をしていただきました。



☆生徒会役員選挙 (9/25)

生徒会本部役員選挙がありました。立ち会い演説会の後、町からお借りした本物の投票道具を使用しての投票となりました。立候補者と応援演説者はしっかりと自分の思いを語り、生徒たちは神妙な表情で投票に向かっていました。



☆1 年生俳句の指導 (9/26)

上毛新聞ジュニア俳壇の選者鈴木伸一氏による俳句の指導が1年生を対象に行われました。1年生はすでに多くの生徒が新聞に作品を掲載されていますが、選者によるお話はとても新鮮でいい刺激にもなりました。これをきっかけにますます俳句の創作活動に励んでほしいです。



☆ハルビン報告会 (9/28)

夏休みに中国のハルビン市へ派遣された4名の生徒による報告会が開かれました。多くのご来賓の方々や保護者が見守る中、堂々と体験の報告ができました。これをきっかけに、生徒の皆さんの視野がさらに広がり、グローバルな視点で考えることができるようになることを望みます。

